



株式会社商船三井さんふらわあ  
大洗支店長

中島 雅彦

「港から見える、いつもの大洗」

大洗町の皆様、こんにちは。

株式会社商船三井さんふらわあの中島と申します。日頃より、大洗町の皆様には、私たちのフェリー運航に温かいご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

また、このたびは「広報おおあらい」に寄稿の機会をいただき、心より感謝申し上げます。

大洗港が一番にぎやかになるのは、夕方、日が傾き始める頃です。岸壁には北海道へ向かうトラックが並び、旅の準備を終えたお客様がターミナルに集まってきます。やがてフェリーの汽笛が港に響き、夕暮れの海を背に、一隻の船がゆっくりと岸壁を離れていきます。私は日々、この大洗港を拠点に、フェリーで人や荷物を運ぶ仕事に携わっています。

大洗く苫小牧航路は、1985年に始まり、首都圏と北海道を結ぶ大切な「海の道」として、生活に欠かせない物資や、多くの方の移動を支えてきました。町の暮らしのすぐそばで、静かに、そして確実に役割を果たしてきた存在だと感じています。

近年は、環境への配慮にも取り組んでいます。2025年には、この航路にLNG(液化天然ガス)を燃料としたフェリーを導入しました。二酸化炭素の排出を抑えることができ、海や自然にやさしい船として、これからの時代に合ったフェリーを目指しています。

また、夏の大洗海上花火大会の日には、港に停泊するフェリーと、夜空に広がる花火が重なり合う、ここ大洗ならではの美しい風景が生まれます。フェリーで訪れた方が、その光景をきっかけに町の魅力を知り、また足を運んでくださることもあります。

- 略歴
- 1987年 日本沿海フェリー株式会社 海上籍入社
  - 2008年 海上籍から陸上籍に転籍
  - 2010年 ポートキャプテン就任
  - 2021年 大洗支店長就任

これからも私たちは、大洗港の一員として、町の風景や行事を大切にしながら、皆様と同じ目線で歩んでいきたいと考えています。港にフェリーがある、いつもの大洗の風景を、これからも温かく見守っていただけましたら幸いです。最後にとなりますが大洗町のさらなるご発展と、町の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



「ソント」から見たおおあらいでは、各界でご活躍の方々から大洗についてのご寄稿をいただきます。